

5. 持続的成長に向けて

経営基盤とリスク管理を盤石にし、
いかなる環境下でも事業を継続

当社は、積み重ねられた製造・人的・知的資本を支えとし、コア事業の強化、事業の多角化やグローバル生産を進め、リスクにぶれることのない強靱な経営基盤の確立に取り組んできました。そして、これらを「相合」することで、新たな価値を創造してまいりました。今後も、経営理念をもとに、E・S・Gの側面からマテリアリティ（重要課題）を中心とした社会課題の解決に邁進し、売上高2.5兆円・営業利益2,500億円を長期的な定量目標に掲げ、世界のお客様に役立つ価値を提供し、持続的な成長を目指します。

メガトレンド
環境・社会の課題
(事業機会)

環境(E)

- 地球温暖化
- 生物多様性
- エネルギー危機
- 資源の枯渇
- 自然災害

社会(S)

- 情報セキュリティの強化
- AI、IoT社会の進展
- 世界人口の増加
- 食糧危機
- 先進国の少子高齢化
- 格差拡大
- パンデミック(感染拡大)

マテリアリティ（重要課題）

すべての従業員が力を最大限発揮できる職場づくり

- 1 従業員の安全と健康 S
- 2 働きやすい職場づくり S
- 3 グローバル規模の人材育成 S
- 4 グローバル規模のダイバーシティの推進 S

社会の発展に貢献する新しい価値の創造

- 5 環境貢献型製品の創出 E
- 6 地域社会との対話と発展への貢献 S
- 7 社会課題を解決するソリューション創出 S

社会を支える精密部品の安定供給

- 8 安全・安心な製品の供給 S
- 9 責任ある調達の推進 S
- 10 リスクマネジメントの強化 G

マテリアリティ P.46

経営基盤・リスク管理

経営理念の浸透

グループガバナンス

サクセッションプラン 等

事業等のリスク P.61-62

価値創造モデル



次の10年 基本戦略

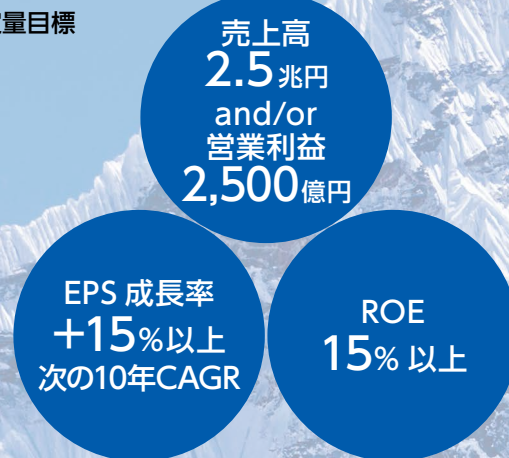
新8本槍と世界最強の

「相合」精密部品メーカーへ

1. 新8本槍に変更	3. 新市場の開拓
2. 新製品を市場投入	4. 積極的な M&A
+ デジタイゼーション	
人材育成（後継者育成含む）+ 財務規律を伴う株主還元	

2029年3月期に目指す姿

定量目標



非財務目標



事業構成

コア事業にシフトし、
業績ボラティリティ低減と
リスクマネジメント向上を両立

■ コア事業売上高
■ サブコア事業売上高

